

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-3-1	事業名	札幌スタイル推進事業			
担当	経済局産業振興部ものづくり支援担当課 関 211-2362					
全体計画						
事業内容	市内中小企業が、札幌の高い都市イメージとデザインを活用し、異分野連携等とおして商品開発力の向上と販売力の強化を図るとともに、官民連携のもと、次世代のライフスタイルを提案する「札幌スタイル」という新しい価値の創造に取り組み、国内外の市場や生活者に対し付加価値の高い商品やサービスを提供することで地域経済の活性化につなげる。 「札幌スタイル」の構想 ・トータルプロデュース会議の開催 「札幌スタイル」の発見・創造 ・認証制度の実施 ・プロポーザル型デザインコンペの開催等 「札幌スタイル」の可視化(具現化) ・コンペ入賞作品製品化 ・デザイナーと企業のマッチング支援 ・産学官連携プロジェクトの推進 等 「札幌スタイル」の価値伝達(販路拡大支援) ・首都圏の商談会への出展支援 ・ショーケース、札幌スタイルショップ、Web等を活用した販路拡大支援・セミナー開催 等					
	<年度別の事業内容>					
事業内容	平成19年度事業内容(決算)					
	平成20年度事業内容(予算)					
事業内容	<p>・札幌スタイル・デザイン会議の開催 産学官で構成する有識者会議により、これまでの事業成果と課題を検討。今後の中長期的な方向性をとりまとめた「札幌スタイル推進戦略」の提言を受けた。 ・デザインコンペティション入賞作品製品化支援事業 デザインコンペティション2006入賞作品の製品化を支援した。 ・札幌スタイル発信事業 デザインギャラリー(丸井今井南館)及びショーケース(地下鉄大通駅コンコース)の運営や、Webを活用して、札幌スタイルの情報を発信し、認証商品の販路拡大を支援したほか、各種セミナーを開催し札幌スタイルの認知度の向上に取り組んだ。 ・デザイン開発プロジェクト 産学官で構成するデザインを活用した商品開発プロジェクトを運営。 ・札幌スタイル認証事業 道内外における展示会、商談会に出展し、認証商品の販路拡大を支援した。 ・デザイン・インターンシップ事業 デザイン系の人材育成と地元定着を目的としたインターンシップを開催した。 ・ギャラリー移転準備 デザインギャラリーの移転に向け、丸井今井南館からの撤収と移転後ショップの設計等開設準備を行った。 ・ユニバーサルデザイン推進支援事業 ユニバーサルデザインの普及啓発と福祉用具の販路拡大を目的とした「らくらくフェア」を開催した。</p>					
事業内容	<p>・(仮称)札幌スタイル・プロデュース戦略会議及び認証事業等 札幌スタイルのブランドイメージを戦略的にプロデュースする戦略会議を開催。 新しい認証制度を構築の上、札幌スタイルの認証を行なう。 ・デザインコンペティションの開催 ・デザイン開発プロジェクト ・札幌スタイルの発信業務 ギャラリーの移転によりRタワーにデザインショップを設置するとともに、ショーケース、ホームページの活用により、札幌スタイルの認知度向上と認証商品の販路拡大を支援する。 ・デザインインターンシップ事業 ・(仮称)子どもデザイン塾 小中学生等を対象としたデザインセミナーを開催。 ・らくらくフェア開催支援事業 民間団体が主体となり実行委員会形式による運営となる「らくらくフェア」の開催を支援。 ・札幌デザインウィーク2008開催支援事業 市内企業、デザイン団体、建築家、教育機関等が参加し、デザインの力を普及啓発するイベントの開催支援。</p>					
達成目標の状況						
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
認証製品数(累計)	56件	56件	70件	85件	100件	100件
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
<p>市民との連携、市民参加 札幌スタイルの事業PR等を目的に、平成19年5月より札幌スタイルに関わる企業関係者、デザイナー、市民、NPO等が参加する札幌スタイルホームページ運営委員会を立ち上げた。行政のみではなく、札幌スタイルに関わる様々な当事者の目線を組み込んだ情報の発信に努めており、同運営委員会をきっかけとした企業、行政機関の連携による新商品の開発等の事例も生まれている。 企業等との連携・協働 [資金協力] 本事業の実施により、札幌スタイル認証商品の販路拡大等が図られ、売上げの増加が期待される。 [人材協力] インターンシップ事業によりデザイン系人材の育成と地元企業への定着を図っている。 [情報協力] 札幌スタイルのホームページ運営委員会を立ち上げ、企業の視点も組み込んだ情報発信を行っている。 [その他の協力] 異業種間の連携を促進し、新たなネットワーク構築に取り組んでいる。 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 札幌スタイルのイメージを伝える冊子の配布や、ホームページをおしてイベント情報を広く公開する等、市民、企業の事業参加を促している。また、市民が作るウェブシティさっぽろとの連動を意識したホームページを作成し、市民参加型の情報発信に努めている。</p>						

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		2-3-1		事業名	札幌スタイル推進事業			
評価(成果)				課題				
<p>当該事業の実施により、異業種間の企業連携等をきっかけとして、札幌の都市イメージやデザインを活用した新たな商品が道内外で流通し、売り上げを順調に伸ばしているなどの成功事例が複数生まれ、国内外の市場や生活者に対し付加価値の高い商品やサービスの提供をとらして地域経済の活性化につなげる動きとなっている。</p> <p>1つの例として、デザインコンペの入賞作品をもとに、デザイナー、複数の地元企業、大学、公的支援機関、行政との連携により商品化された雪の結晶型紙石鹼「初雪」は、平成19年度に札幌市経済局の支援メニューを活用して量産体制を整えたことにより、雪まつり期間に約4,000個を売り上げたほか、首都圏見本市にて好評を博し多数の引き合いを受ける結果となった。</p>				<p>成功事例の創出等、事業成果が現れているが、「札幌スタイル・デザイン会議」により提言された札幌スタイル推進戦略にて指摘されたとおり、平成20年度中に、コンペの実施方法や認証製品の選定基準の見直し等を行い、より効果的に成功事例が生まれる事業形態となるよう検討を要する。</p> <p>また、将来的に「札幌スタイル」を行政主導から本来在るべき姿としての企業主体の推進体制に移行する必要があり、これに向けた基盤整備の検討を要する。</p>				
今後の事業の予定・方向								
<p>札幌スタイル推進戦略をもとに、企業間連携等ネットワークの構築や札幌の特性を活用した付加価値創出型ビジネスへの支援策の個別事業の実施方法を(仮称)札幌スタイル・プロデュース戦略会議等において、具体的に再検討し、より効果的なものとする。</p> <p>また、将来的に「札幌スタイル」を行政主導から企業等による民間主導の推進体制とするための基盤整備に向け、長期的な視点に立って、方策を検討していく。</p>								
事業費の推移								
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費	26,100	23,900	19,000	24,000	93,000		
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0	
		市債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	26,100	23,900	19,000	24,000	93,000	
予算	事業費	26,100	23,490	-	-	49,590		
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0	
		市債	0	0			0	
		その他	0	0			0	
		一般財源	26,100	23,490			49,590	
実績	事業費	33,114	-	-	-	33,114		
	財源内訳	国・道支出金	0				0	
		市債	0				0	
		その他	0				0	
		一般財源	33,114				33,114	
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)					60.9%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)								
(全体)								
[19年度] 札幌スタイル・デザインギャラリーについて、情報発信機能を高めるため、より集客力の高いRタワーへ移転することとして、設置していた丸井今井南館におけるギャラリーの撤収及び新拠点としての札幌スタイルショップ開設に向けた準備を行なったことにより、計画していた事業費との差異が生じた。								
[20年度]								